

草木張月に…春まであと少し！

★2月中旬までの催しをご紹介します★

『子ども和紙大学おがわ・ひがしちちぶ』が開校されました！



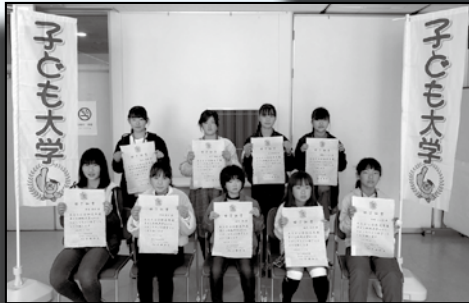
昨年10月から今年の1月にかけて、『子ども和紙大学おがわ・ひがしちちぶ』が本村と小川町で開校されました。

毎年恒例となったこの大学は、子どもたちに和紙への興味を持ってもらい、伝統文化を後世に繋げていく目的で開校しています。

東秩父村と小川町の小学4年生から6年生の子どもたち11名が学生となり、計3回の講座を通して和紙ができる工程を学びました。

また、和紙フラワー作りや、英語を使って和紙について勉強するなど、普段学校ではできないことを楽しく体験でき、子どもたちにとって「東秩父の伝統文化」に触れることが出来た良い機会になったようです。

いつもと違う友だちや学年の子と活動することはとても有意義な時間だったようで、子どもたちの成長の糧となったことでしょう。



公民館講座『こどもおかし作り教室』を開催！

2月8日(土)にコミュニティセンター「やまなみ」調理室において、小松屋本店社長・豊田健さん(小川町)、若林玉江さん(御堂)、坂本美澄さん(皆谷)を講師に迎え、「こどもおかし作り教室」が18名の参加で行われました。

いちごや生クリームなどを使って、バレンタインデーバージョンのチョコババロアとバナナチョコスポンジを作りました。

4つの班に分かれて高学年が班員をまとめ、時間の管理や分量の調整をみんなで協力しあい、チョコっといちごの思いが込められたおかし作りを楽しめたようです。



身形神社(安戸)で文化財防火訓練



1月26日(日)、身形神社(安戸)において文化財防火訓練が行われました。

当日は、安戸地区の住民や神社関係者をはじめ、小川消防署東秩父分署職員、東秩父消防団の団員らが集まり、約70名が参加しました。

訓練では、火災発生のお知らせを聞いた住民が、貴重な文化財を守るために、通報訓練、水消火器での初期消火活動、文化財の模擬搬出を実施しました。その後、消防団車両の放水による火災消火訓練が行われて、無事延焼阻止となりました。

また、小川消防署東秩父分署の職員による消火器の取り扱いおよび住宅用火災警報器の説明等を受け、村教育委員会文化財担当より身形神社や安戸地区の歴史について説明を受けました。

参加者は地域の文化財の重要性を再認識し、防火意識を高めることができたようです。